

K.I.T. Yumekobo Formula Car Project

MONTHLY REPORT Vol.38



目次

・11月の活動内容

・エンジン講習会について

・学生フォーミュラ大会スズキ支援校合同

・12月の予定

報告会について

・静的交流会について

・11月の活動内容

2日(水)、3日(木)に第2回設計コンペティション、18日(金)、19日(土)に第3回設計コンペティションを行いました。

第2回では第1回で掲示した定性的な目標と定量的な目標に対するパーツの草案を発表し、第3回は第2回を踏まえたパーツの第二案の発表をしました。

第1回同様、現役メンバーに加えOBにも参加していただき、きめ細かなアドバイスをもらうことで各パーツにおける課題などを明確化することができました。

12月2日、3日に行われました第4回に関しましては12月の月間活動報告書にて詳細をご報告させていただきます。



(図1:作業ブース整頓の様子)

・学生フォーミュラ大会スズキ支援校合同報告会について

26日にスズキ歴史館にて行われた2022年学生フォーミュラ大会スズキ支援校合同報告会に参加しました。

午前中はスズキ歴史館の見学を行いました。過去に行われてきたモノづくりの歴史や、現在のクルマづくりの方法などが分かりやすく展示されていて、スズキ株式会社様について深く知ることができました。

午後からは、スズキ株式会社様の講演や、大会上位成績校による2022年度の活動についてのプレゼンテーション、事前に設定された議題に対してのグループ討議などが行われました。特にグループ討議では、対面で他大学と交流することができたためオンラインの時より内容の濃い討議を行うことができました。

フリートークの時間では、弊大学OBの花村様、清水様とお話することができました。1時

間ほどお話しする時間があり、チームの運営方法など非常に参考になるお話を聞くことができました。

・静的交流会について

10月27日に静的交流会が名古屋大学で行われました。プレゼンテーション分科会、デザイン分科会、コスト分科会にチームリーダー良知とTD名畑と大橋で参加しました。

プレゼンテーション分科会での発表では、各大学がどのようなバックグラウンドを経てプレゼンテーションを作成したかなどの審査までの具体的なプロセスを知ることができる、非常に有意義な時間でした。中でも、群馬大学様は分析能力が非常に高く、報告発表も他の大学に比べ情報が整理され話もまとまっていたため、非常に参考となりました。こうした各スキルのレベルの高さが好成績につながっているのだと感じました。

また、プレゼンテーション審査に対する弊チームの取り組みと、他大学の取り組みを比較することが出来た非常に良い機会でした。

・エンジン講習会について

27日に静岡理工科大学様にて行われた、自動車技術会中部支部 学生自動車研究会様とズキ株式会社様によるエンジン講習会に参加しました。

二輪車の四気筒のエンジンを用いてエンジンの構造や、分解と組立を行う上での注意点について教えていただきました。講習会中はエンジンパーツのカットモデルを見せていただいたり、一部のパーツを実際に触れてどのように動作しているかなどを体験させていただいたり、とても有意義な時間となりました。今回学んだことは弊チームのエンジンをメンテナンスする際に活かしてまいります。

・12月の予定

第4回設計コンペティション 2日、3日

予算折衝 9日

第5回設計コンペティション 14日

車検講習会 27日

K.I.T. Yumekobo Formula Car Project Monthly Report

編集：名畑 晴琉
三浦 久季
良知 聖淳

発行：金沢工業大学 夢考房フォーミュラカープロジェクト
〒921-8501

石川県野々市市扇が丘 7-1

金沢工業大学 夢考房フォーミュラカープロジェクト

E-mail: kit_fmc@hotmail.com

ご意見・ご感想などございましたら上記までご連絡ください。